

目 次

大会プログラム	1
共通論題	
趣旨説明 大沢真理（東京大学）	2
報告要旨	
共通論題 第1 報告 川口 章（同志社大学） 女性の就業と出生率の国際比較	2
共通論題 第2 報告 竹沢純子（お茶の水女子大学大学院） 児童手当の目的・給付基準の再検討	3
共通論題 第3 報告 大井方子（県立高知短期大学） バブル崩壊前後の出産・子育ての世代間差異	3
自由論題報告	
第2 会場 第1 報告 安里和晃（日本学術振興会特別研究員・龍谷大学） アジアにおける外国人家事・介護労働者の配置 ——女性政策と少子高齢化への対応	5
第2 会場 第2 報告 牧田幸文（龍谷大学大学院） ペイドワークとアンペイドワーク時間の検証——ストックホルム市と 名古屋市の働く両親の生活時間から	10
第3 会場 第1 報告 青柳和身（岐阜経済大学） ボーヴォワールの視点からの『資本論』再検討——「本源的蓄積」論および 「蓄積過程」論を中心に	20
第3 会場 第2 報告 室住眞麻子（帝塚山学院大学） 所得プール単位としての家計概念の意味と問題	26

プログラム

日 時：2005年4月16日(土) 午前10時より

会 場：東京学芸大学（東京都小金井市, JR 武蔵小金井駅よりバス7分）

10:00～10:40 自由論題 第1報告

第2会場 安里和晃（日本学術振興会特別研究員・龍谷大学）「アジアにおける外国人家事・介護労働者の配置——女性政策と少子高齢化への対応」

第3会場 青柳和身（岐阜経済大学）「ボーヴォワールの視点からの『資本論』再検討——「本源的蓄積」論および「蓄積過程」論を中心に」

10:50～11:30 自由論題 第2報告

第2会場 牧田幸文（龍谷大学大学院）「ペイドワークとアンペイドワーク時間の検証——ストックホルム市と名古屋市の働く両親の生活時間から」

第3会場 室住眞麻子（帝塚山学院大学）「所得プール単位としての家計概念の意味と問題」

11:30～11:40 休憩時間

【共通論題 会場：第1会場】

テーマ「少子化のフェミニスト経済分析」 座長：大沢真理（東京大学）

11:40～12:20 共通論題第1報告

川口 章（同志社大学）「女性の就業と出生率の国際比較」

12:20～13:20 昼休み

13:20～14:00 共通論題第2報告

竹沢純子（お茶の水女子大学大学院）「子どもを持つことによる生活水準の変化——生活水準保障としての児童手当額算定の試み」

14:00～14:40 共通論題第3報告

大井方子（県立高知短期大学）「バブル崩壊前後の出産・子育ての世代間差異」

15:00～16:30 総括討論

16:30～16:40 休憩時間

16:40～17:10 総 会（第1会場）

17:30～ 懇親会